

科目名	人的資源管理	単位数	2単位	学期	後期
担当教員	小林 満男		実務経験の有無		○
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-32-B-3-430020	経営情報学部A：健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決にあたることができること			
授業の目的	人的資源管理では、企業や団体に働く人々をどのように管理すればいいのか、どのように人材を生かしていくのかについて学びます。人的資源管理は、経営学はもとより社会学や心理学等にもまたがる学際的な領域であり、これらの関連分野とのつながりについても学びます。 時宜に応じた人的資源管理に関連するテーマをとりあげ、学生が自主的、計画的に情報を集め、考察し、自らの見解を加えてレポートとしてまとめることを要求します。				
学修到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人的資源管理の位置づけ、仕組みなどの基本事項を理解している（定期試験50%、レポート10%）</li> <li>・人的資源管理に関連する理論、諸事項について理解している（定期試験10%、レポート10%）</li> <li>・人的資源管理の多様化（女性労働・高齢者雇用、非正規雇用等）について理解し、企業や団体に働く意義を考えることができる（定期試験10%、レポート10%）</li> </ul>				
実務経験との関連性	企業においてマネージャとして人材マネジメントにかかわった経験をふまえ、人的資源管理の仕組みと働く意味づけを考える。				

授業計画	
第1回	[人的資源管理入門] 人の管理とはどんなことか、人事労務管理から人的資源管理に移行してきた背景を学びます。
第2回	[人間モデル・組織行動] 組織は人をどのように捉えるのか、関連する基礎理論や人間モデルについて学びます。
第3回	[組織設計] 人の働く組織をどのようにつくるのか、組織の構造の観点から人的資源管理を考えます。

第4回	〔採用・異動〕 組織は人をどのように雇い入れるのか、また職務と人のマッチングについて考えます。
第5回	〔キャリア開発・人材育成・教育訓練〕 組織は人をどのように育てるのか、人材育成の仕組みや人材の成長を高める工夫について学びます。
第6回	〔評価・考課〕 組織は仕事の結果をどのように評価するのか、人事評価の方法や課題について学びます。
第7回	〔昇進・昇格〕 組織は人をどのように処遇するのか、昇進昇格の目的、仕組み及び同行について学びます。
第8回	〔賃金・福利厚生・退職金〕 組織は人にどのような報酬を与えるのか、賃金に影響する要因、賃金体系、グローバル時代における賃金のあり方について考えます。
第9回	〔安全・衛生〕 組織は人の安全と健康をどのように守っているのか、安全・衛生をささえる法律と職場におけるメンタルヘルスやハラスメントについて考えます。
第10回	〔労使関係〕 組織は労働組合とどのように関わるのか、労働組合の機能、効果及び課題について学びます。
第11回	〔退職〕 組織は辞めていく人とどのように関わるのか、定年制や組織にいてほしい人を組織にとどめる施策であるリテンション・マネジメントについて考えます。
第12回	〔女性労働・高齢者雇用〕 多様化する働く人たちを組織はどう管理するか、女性労働と高齢者雇用の現状、法制の整備や国の働き方改革の取組について学びます。
第13回	〔非正規雇用〕 多様化する雇用形態を組織はどう管理するのか、非正規雇用の現状と新しい雇用のあり方について考えます。

第14回	【裁量労働・在宅勤務】多様化する労働時間と場所を組織はどう管理するのか、労働時間の管理方法や働く場所の多様化の動向について学びます。
第15回	【ワーク・ライフ・バランス】【まとめ】多様化する働く意味づけを組織はどのように管理するのか考えます。後半は、第1章から第15章までの復習をおこないます。
第16回	【期末試験】80分（教科書等の一切の持ち込みは不可）

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間：テキスト（の該当する章）と事前に配布した講義資料で予習する。
【復習】時間・内容	2時間：テキスト（の該当する章）と事前に配布した講義資料で授業を振り返る。

成績評価	
評価基準・方法	①定期試験（問題1：正誤、問題2：語句選択）人的資源管理に関する基本的な事項の理解をみる；50%、レポート10% ②定期試験（問題3：記述）人的資源管理に関連する理論や諸事項に関する理解をみる；10%、レポート10% ③定期試験（問題4：記述）人的資源管理の多様化に関連するテーマについて理解し、企業や団体に働く意義を考えることができる；10%、レポート10%
フィードバック方法	・授業外レポートについては、学生の記述例を取り上げて解説する ・理解度確認として授業内で行う小テスト（非評価）は学生の解答例を見せながら解説する ・期末試験結果の全般的な講評はポータルで行う

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	
教科書/参考書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書：上林憲雄、厨子直之、森田雅也著「経験から学ぶ人的資源管理（新版）」有斐閣 本体2800円（購入必須）</li> <li>・参考書：竹内倫和、福原康司編著「経営組織論シリーズ2 ミクロ組織論」学文社 本体2300円（購入任意）</li> </ul>
受講上の留意点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書は必ず入手し、毎回、担当の章を予習すること。</li> <li>・事前に送付した当日の講義資料と、授業で配布する資料は必ず復習しておくこと。</li> </ul>
JABEE	